MALTO TIMES

2025 winter

〈 クリスマスのおはなし 〉

実は北欧のお祭り？クリスマスと"ユール"

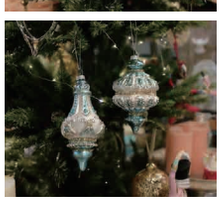
「キリストのミサ」という意味を持つクリスマス（Christmas）ですが、実はクリスマスツリー自体はキリスト教由来ではありません。 諸説ありますが、北ヨーロッパに住んでいたゲルマン民族の冬至のお祭り「ユール」から系譜を継ぐものではないかと言われています。ゲルマン民族は「ユール」の際、樫の木を「永遠の象徴」として祭祀に用い、崇める対象としていました。この「ユール」がクリスマスの起源ではないかと言われており、そのため現在でもスウェーデンなど北欧諸国ではクリスマスを「ユール」と呼ぶ風習が残っています。

▲常緑樹が使われるツリーは、「永遠の象徴」です。キリスト教では、「神の永遠の愛や神が与える生命を象徴する」といった意味が込められます。

クリスマスツリーを飾ろう

12月24日は絶対に眠らない！と決めこんで、この目でサンタを見て…やる…と思いながら意識が遠のく。翌朝にはその悔しさはすぐに忘れて、玄関先にあるツリーの下に一目散。パジャマのまま裸足で階段を駆け下りるので、とっても足が冷たい。きらびやかな情景はいつも家族の愛情があったからこそ、と思わされます。

毎年飾る物だから、毎年街で見られるものだから、なんとなく、何気なく飾っている方も多いと思うのですが、クリスマスツリーの由来はご存知でしょうか？意味や由来を知ると、もっと特別な気持ちでクリスマスの準備ができそうですよ。



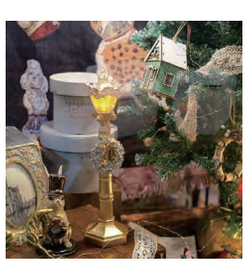
オーナメントに込められた願い

▲クリスマスツリーを飾る色とりどりの丸いオーナメントボール。これはアダムとイヴが食べた「知恵の木の実」を象徴していると言われ、「幸福」や「豊かな実り」の願いを込めてツリーに飾られるようになった伝統的なモチーフなんだそうです。同じ理由でリンゴのオーナメントも飾られます。

星（スター）とイルミネーション

ツリーの天頂に飾る星は、イエス・キリストが生まれたユダヤ・ベツレヘムの空に輝き、東方の三博士にその誕生を知らせたとされる「ベツレヘムの星」を表していると言われます。

また、ツリーに星を表す蝋燭を最初に灯したのは宗教家のマルティン・ルターです。蝋燭を使っていた時代は、火事の心配も多かったため、消火用の水をいつもツリーの周りに置いていたそうです。
その後、蝋燭の代わりに広まったのが、電気を使ったイルミネーション。実は発明家のトーマス・エジソンが 1880 年に白熱球を開発した折、プロモーションの一環として電飾をツリーに付けたのがその始まりだったと言われています。



SHOKO

最近自然な素材の入浴剤にエプソムソルトを使ってます、天然のマグネシウムでお肌もスベスベに。肌からミネラルも吸収できておすすめです

YAMANE

夫婦そろってバンド「たま」が大好きで、家ではいつも当時のライブ映像を流しています。解散後もメンバーは各自で音楽活動を続けているので、それぞれ４人のライブに通っています。

HAKOZAKI

MALTO の梱包スタッフになってまる 5 年。アンティークに触れる度、ここに辿り着く迄の道のりを想像するのが大好きです。わくわくしていただける様に願いながら梱包させて頂いてます。

NOSOKO

運気が上がりそうなアイテムが大好きで、色んなジャンルの縁起物グッズを集めています。最近は、本人がもはやパワースポットという、アンミカさんのキーホルダーがお気に入りです。

【ADDR】166-0003 東京都杉並区高円寺南2-20-17【TEL】03-3318-7711 【MAIL】malto@salhouse.com
【WEB】www.salhouse.com【INSTAGRAM】malto_shop 【X】@maltoshop【LINE】703liqty